事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

１．　初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1人	14人	1人	人	16人

前回の改善計画
・ 毎日、時間に余裕をもって出勤するようにしていくが、慌てて業務に入る職員には、申し送りやミーティング等で再度、確認をしていくようにする。 ・家族から得てきた情報は口頭伝達をせず必ず伝達簿や介護記録に記入するようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・毎日、家族から得た情報等は、昼のミーティングで情報を共有したり伝達簿、介護記録に記入するようにしている。 ・家族からの情報等は口頭伝達せず、すぐに伝達簿、介護記録に記入するように職員同士が声を掛けあい行っている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	人	16人	人	人	16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		15人	1人	人	16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	1人	13人	2人	人	16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		14人	2人	人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初期訪問時には必ず家族や本人に不安なことがあれば聞くようにしている。又、必要なサービスが受けやすい様他事業所への連携（福祉用具・住宅改修・他施設への紹介や調整)にも努めている。 連絡ノートを活用し家族からの情報に対し毎日行うミーティーングで話し合い、日中の過ごし方を細かく記入し家族との情報共有に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・休み明けで出勤した際、慌てて業務に入った時などに伝達簿や介護記録の見忘れがある。 ・家族から得た情報等、ミーティングで情報の共有はしているが、伝達簿への記入忘れがあり、当日休みの職員には伝達が行きわたっていないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・当日のリーダーがミーティングの時に伝達簿に書かれていることを読み上げ、伝達簿を読んで業務に入れなかった人たちへ周知していく。 ・朝の送迎時で得た情報や利用者の当日の様子など、日報へ書き写し申し送りができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

２．　「～したい」の実現 （自己実現の尊重）	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	10人	6人	人	16人

前回の改善計画
・センター方式を活用しており、職員を各利用者に割り当てて担当制にし細かい情報収集をしていく。 ・訴えの少ない利用者については、家族からの情報を得たり、職員からの言葉かけにより意向を聞き出すようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・家族や利用者から得た情報をセンター方式を活用することにより、本人の思いを探る努力をしている。 ・訴えの少ない利用者については、家族から情報を得たり、また、一緒に散歩をしゆっくりと話をしながら本人の意向を聞くようにしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	人	6人	10人	人	16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	人	9人	7人	人	16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	人	8人	8人	人	16人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	人	11人	5人	人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々、本人との会話の中より訴えを聞き取り、本人にとってどのような生活が良いのか、家族の意向も聞き、両方の想いのバランスが上手く取れるように調整をしている。　又、朼の送迎時の家族の会話等やこれまでの生活歴、サービスの利用経過をもとにしミーティング等で話し合いをし取り組んでいる。 認知症の利用者には、一緒に行動したり言葉等を聞き取ったりし、職員間で何を思っているのか話し合いながら対応をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員一人一人に時間の余裕がなく、利用者とゆっくりと向き合う時間が持てていない。 ・重度の認知症の関わり方が上手くできていないため、利用者の想いを聞き出すことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・職員が各利用者の担当になってもらい、それぞれ得た情報をセンター方式に記入してもらう。 ・認知症の勉強会を行うことで、利用者一人一人の関わり方を学ぶ。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）
３．　日常生活の支援	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	7人	人	16人

前回の改善計画
・重度の認知症の為、本人からの情報が得られにくいので、家族からしっかり話を聞き、情報収集していく。 ・センター方式を継続活用していき、利用者の担当制を取り入れることにより細かな情報収集をしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・センター方式を取り入れていくことで、少しずつだが細かい情報を知ることができている。 ・少しの変化も見逃さずに利用者の情報を毎日のミーティングで情報を共有している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3人	9人	4人	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		16人	人		16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		13人	3人	人	16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	人	15人	1人		16人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		11人	5人		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
排泄チェック表を使用し排泄パターンを把握することでトイレで排泄ができるようにしている。入浴は本人の希望（午前・午後）を聞くようにし入浴したがらない利用者には曜日を変えたりし無理強いをしないようにしている。入浴排泄の声掛けには自尊心に配慮している。体調変化や状態変化があった時は、必ず介護記録に記入したりミーティングで話し合ったりし当日休みの職員にも伝達出来る様、伝達簿への記入や日報へも記入をしている。 認知症の利用者には、一緒に行動したり言葉等を聞き取ったりし、職員間で何を思っているのか話し合いながら対応をしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・認知症の利用者には会話しても情報が限られてしまう為、概ねの生活環境の把握はできているが、10個以上の把握については、細かい部分の情報収集ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・重度の認知症の為、本人からの情報が得られにくいので、家族からしっかり話を聞き、情報収集していくことを継続していく。 ・センター方式を継続活用していき、利用者の担当制を取り入れることにより細かな情報収集をしていくとともに具体的なアセスメントに心がける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

４．　地域での暮らしの支援	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	7人	人	16人

前回の改善計画
・地域の清掃活動を継続するなど、地域との関わり方を増やしていく中で活用できる地域資源の把握をしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域の清掃活動を継続していく中で、自然に挨拶やねぎらいの言葉かけをいただくことができている。 ・施設で実施した熱中症予防の勉強会の参加の呼びかけや、子供会との交流がありｶﾅﾅﾜ作りやハロウィンに変装した子供たちの訪問、また、西部公民館で行われた文化祭へ手作り作品の出品やオレンジカフェの参加をするなど地域との交流が盛んになってきている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		7人	9人	人	16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	人	5人	11人	人	16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		2人	13人	1人	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	4人	11人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
回想法を用い、談笑しながら話やすい雰囲気の中で利用者の好みや生活歴を理解するようにしている。 利用日でない日の過ごし方や状態等、送迎時に家族から話を聞くようにしている。利用者からの希望によるかかりつけ医への受診など、これまでの関係が継続出来る様、受診介助にて対応をしている。地域のボランティア等を取り入れ行事を行い、又、施設で行われるイベント等への参加を回覧版等で地域に呼びかけている	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・昨年までは近隣地域の活動がほとんどなく、情報も限られていた。そのため、交流の機会を持つことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・今年度から自治会や子供会との交流ができてきているため、あらたな社会資源を活用していけるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）
５．　多機能性ある柔軟な支援	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	11人	5人	人	16人

前回の改善計画
・地域の清掃活動を継続していき、地域となじみの関係を深めていけるようにする。 ・地域資源を活用するために、外出行事を計画していく。 ・家族会や茶話会の実施を計画していき、交流の場を広げ横の繋がりを作っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域密着委員会の活動として、地域との関わりを増やす為に子供会や地域のイベントへの参加や呼びかけをしている。 ・正月には金比羅神社へ参拝、老いの山公園への花見、水族館や角島へバスハイクをし外出行事を実施している。 ・家族会はできていないが、外出行事に家族参加ができるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2人	2人	8人	4人	16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6人	8人	1人	1人	16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	4人	11人	人	1人	16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4人	11人	1人	人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者及び家族の意向を十分に取り入れ、「通い」「訪問」「宿泊」のサービスを取り入れており、又、緊急時にも対応を行っている。日々、気付いた変化は記録に残したり、ミーティングにて情報交換をしている。 状態の変化に異常があれば、家族と連携を取り早期帰宅や病院受診等早急に対応をしている。 又、帰宅後においても状態の把握に努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・昨年までは近隣地域の活動がほとんどなく、情報も限られていた。そのため、交流の機会を持つことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・今年度から自治会の体制が変わったことで事業所との関わりが増えてきている。回覧板の案内を活用し地域の行事などがあれば参加をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

６．　連携・協働	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	8人	8人	人	16人

前回の改善計画
地域の清掃活動の継続や複合施設を活かした施設内行事を通して、自治会等の住民との関わりを増やし、顔の見える関係作りを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ 施設で実施した熱中症予防の勉強会を地域住民へ参加を呼びかけ、数名の方が参加することができた。 ・ 子供会との交流がありｶﾅﾅﾜ作りやハロウィンに変装した子供たちが来所し、また、西部公民館で行われた文化祭へ手作り作品の出品やオレンジカフェへの参加ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3人	2人	8人	3人	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人	5人	3人	6人	16人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3人	3人	3人	7人	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3人	3人	3人	7人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
医療機関や福祉用具の使用等は本人や家族の要望を聞き、こまめな調整をすることでプラン作成等に繋げている。地域包括支援センターの職員や地域の方が参加している運営推進会議において、利用者状況やイベント・会議の実施状況を 報告したり情報交換を行っている。地域の方による琴の演奏・夕焼け楽団などのボランティアや夏祭りを開催することによって地域の住民の参加が多くなっている。ボランティア活動では子供たちの参加もある。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・昨年までは近隣地域の活動がほとんどなく、情報も限られていた。そのため、交流の機会を持つことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ 今年度から自治会の体制が変わったことで事業所との関わりが増えてきている。回覧板の案内を活用し地域の行事などがあれば参加をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

７．　運営	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	9人	6人	1人	16人

前回の改善計画

・清掃活動の継続による地域住民へアピールしていきなじみの関係を築いていく。
・施設内行事を回覧板等で知ってもらい、自由に住民参加ができるようにしていく。
・先々は一緒にできる行事を企画できるようにしていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果

・清掃活動を通して、「お疲れ様」等、近隣住民との声の掛け合いによって、良い関係作りが少しずつだができている。
・施設内の行事の参加（熱中症の勉強会）や子供会による事業所への慰問などの活動(科ﾅﾅﾜ作り、ハロウィン)ができた。
・運営推進会議や地域密着委員会の話し合いにて自治会と一緒の活動ができるような関係作りが少しできてきている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		9人	5人	2人	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	10人	5人	人	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	人	5人	8人	3人	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		3人	10人	3人	16人

できている点　200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事業所のあり方については、職員会議を利用し意見があれば、対応を考え実施している。家族からの意見等があれば職員間で話し合いをしているが、内容によっては施設長などの意見を聞いて対応をしている。地域からの苦情に関しては施設長に対応をお願いしている。又、運営推進会議で地域の方から提案された災害時の避難場所として提供することになっている。事業所から徘徊時の連絡体制や避難訓練時の協力を地域の方にお願いをしている。
毎月、ﾌﾛｲﾃﾞ金比羅小規模通信を発行し家族からの意見をもらえるようにしている。運営推進会議においても意見をもらえるようにしている。

できていない点　200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・地域の人に複合施設であるﾌﾛｲﾃﾞ金比羅のしくみを理解してもらえるような活動ができていない。
・地域との協働した取り組みがない。

次回までの具体的な改善計画　（200字以内）

・ 今年から自治会の体制が変わったことで事業所との関わりが増えてきている。回覧板の案内を活用し地域の行事などがあれば参加をし一緒に活動できるようにしていきたい。
・朝の送迎時で得た情報や利用者の当日の様子など、日報へ書き写し申し送りができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

８．　質を向上するための取組み	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	11人	5人	人	16人

前回の改善計画
資格取得やスキルアップ研修の参加ができるようにしていく。 ゆとりのある人員体制の確保。
前回の改善計画に対する取組み結果
・認知症実践者研修（2名） ・介護実務者研修（2名） ・初任者研修（1名） その他　認知症の研修などに参加ができている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3人	10人	3人	人	16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	8人	6人	人	16人
③	地域連絡会に参加していますか		2人	6人	8人	16人
④	リスクマネジメントに取組んでいますか		5人	11人	人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月、職員会議後に職員持ち回りで講師となり勉強会を実施している。リスクマネジメントの考え方やプロセスを理解し、実際に実演することによりし実践に行かせるようにしている。 スキルアップ研修等は案内を回覧し、いつでも参加ができるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の人数が少ないと思いお互いが遠慮して研修参加が言いだせないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）
・ 全職員が自主的に研修参加への参加ができる体制作りをしていく。 ・こまめな声掛けや研修案内を継続していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成　29年　11月　29日（　18：　00～　19：　00）

９．　人権・プライバシー	メンバー	中堀詔子・岩崎良子・境あけみ・水野正宏・真子加寿恵 宮野洋美・藤原しのぶ・高根通真・福田菊美・山下寛人 野村恵美・竹野下舞・中井ミエ子・高英淑・木村珠美・林拓弥

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	4人	11人	1人	人	16人

前回の改善計画
・人権、プライバシーについて具体的に継続して学んでいき、特に言葉かけや対応の仕方については、勉強会の時や職員会議の時などに振り返る為に、標語を読むようにしていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・人権、プライバシーの勉強会を通して職員自身振り返りをしミーティング等で話し合いを行っている。 ・個人的に利用者に対し、今から行うことを説明し同意を得てから行動をするようにしている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11人	5人	人	人	16人
②	虐待は行われていない	15人	1人		人	16人
③	プライバシーが守られている	5人	11人	人	人	16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	6人	3人	4人	16人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人	11人	人	人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

原則的に身体拘束を行わない旨を重要事項説明書にも記載してある。勉強会を実施し職員への周知を図っている。
職員の行動や言動が虐待になっていないか、マニュアルに沿って勉強会をしている。又、入浴時には全身観察を行っていてミーティング等で報告をしあっている。
本人の気持ちを大切にしプライドへの配慮をした声掛けをしている。又、自己決定しやすい言葉かけをしている。
成年後見人制度を活用している利用者はいる為、後見人との連携を取っている。
写真撮影や情報の公表等は家族や本人に同意を得て行っている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

・定期的な勉強会は行われているが、ついつい馴れ合いになってしまい利用者に対しての言葉遣いが友達言葉になっていたり、尊厳を軽視している所がみられる。

次回までの具体的な改善計画	（200字以内）

・毎月ある職員会議で利用者との関わり方の振り返りを行い、全員で考えていくようにする。